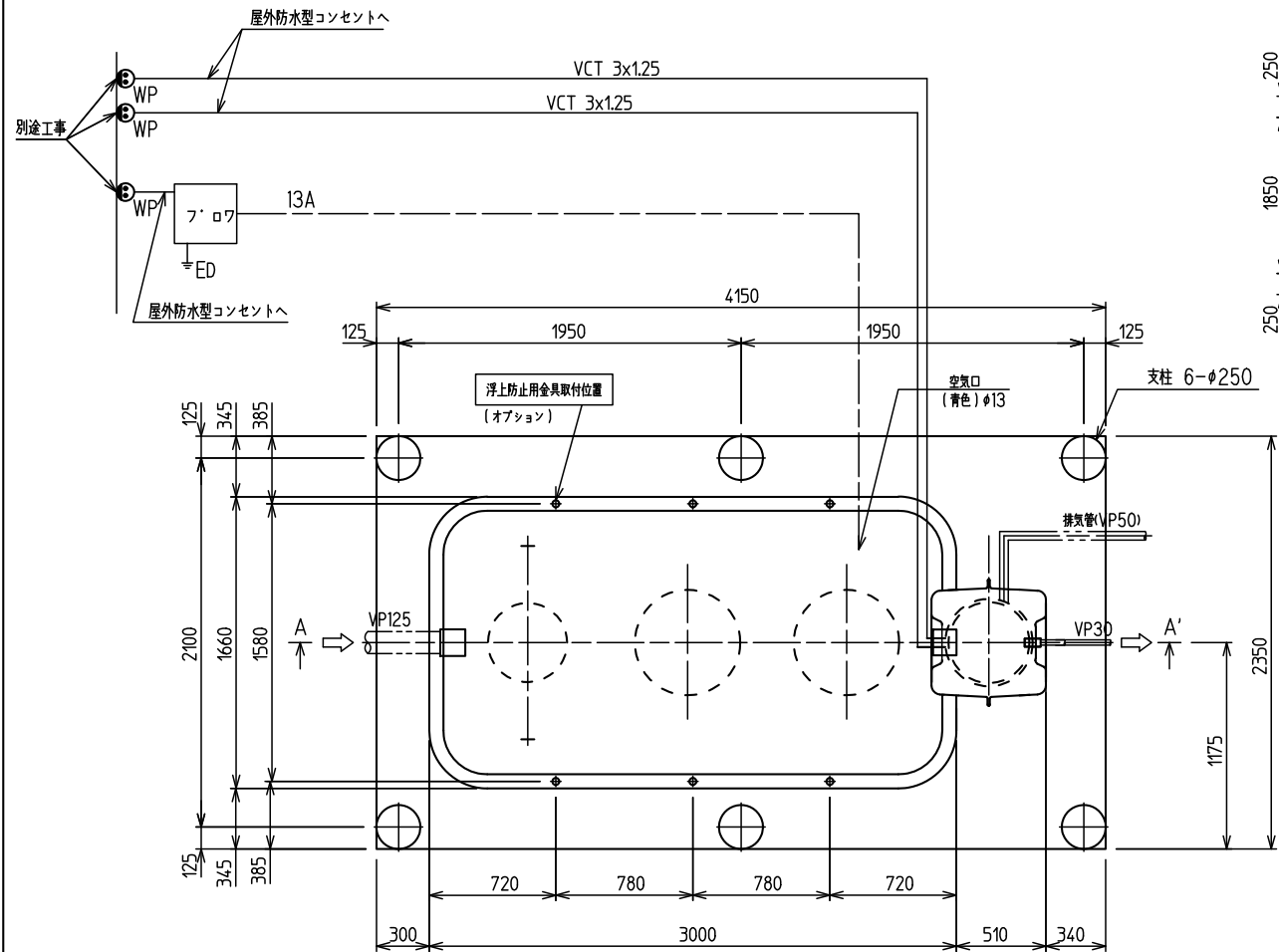
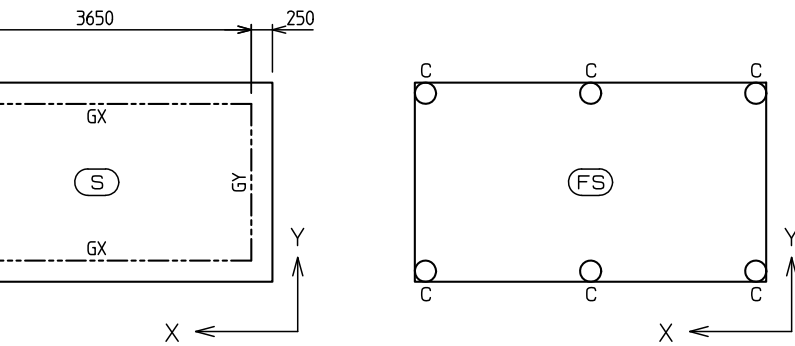


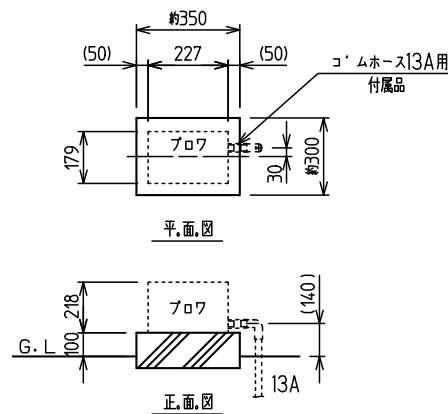


平面図



床スラブ伏図

基礎スラブ伏図



平面図

正面図

フロワ据付図(例) (尺度,N.T.S.)

配			筋		仕			様	
名 称	版 厚	記 号	仕 様						
床スラブ	200	S	X方向	D13	φ200	ダブル			
			Y方向	D13	φ200	ダブル			
基礎スラブ	200	FS	X方向	D13	φ200	ダブル			
			Y方向	D13	φ200	ダブル			
柱	φ250	C	主 筋	4-D13		HOOP	D10φ100		
仮想梁	250W X 200H	GX	X方向	2-D13上下		STR	D10φ200		
		GY	Y方向	2-D13上下					

(注記)

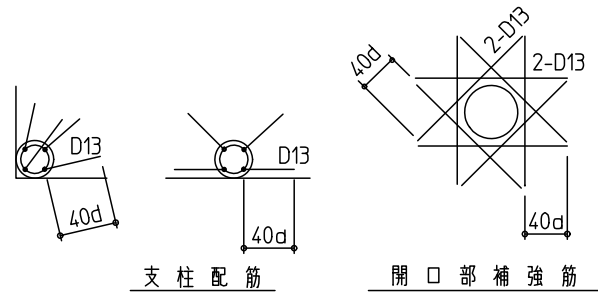
鉄筋 : SD295A

コンクリート : FC=24N/mm²

開口部補強筋 : 各1-D13 ダブル

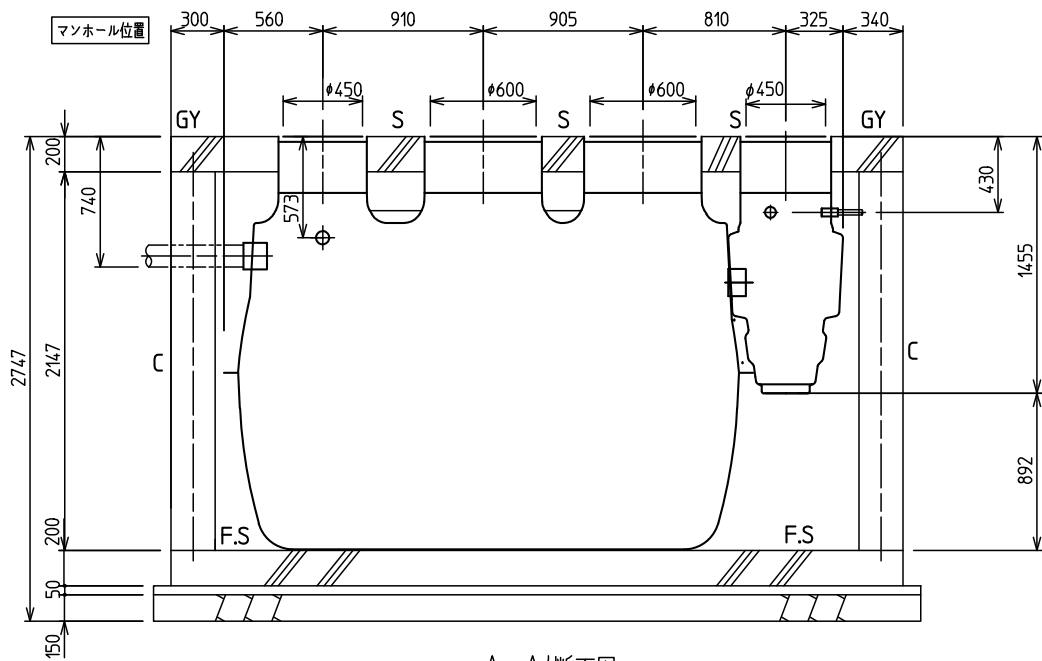
駐車場仕様 : 大型車(T-20)安全荷重50kN

地下水位 : 仕上面-500以下(漏水仕様時)

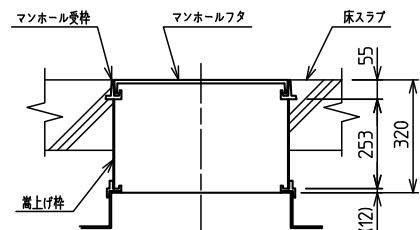


支柱配筋

開口部補強筋



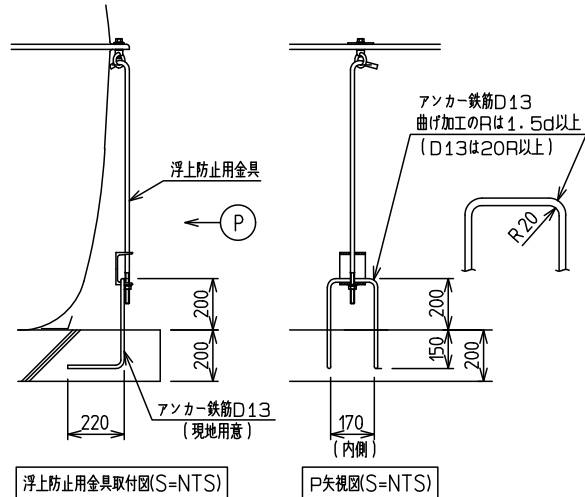
A-A'断面図



マンホール部詳細図(例) (尺度,N.T.S.)

浮上防止用具(オプション例)

浮上防止用具(オプション)は、湧水があり槽が湧水により浮上する恐れのある場合に取付してください。浮上防止用具取付時の底版厚は、200mmとなります。



注記：浮上防止用具、アンカー鉄筋等は、取付後土埋部に防錆塗装してください。アンカー鉄筋は現地用意してください。上記の代替品としてターンバックルを使用する場合は5/8を使用してください。

注記

- 屋外防水コンセント(アースターミナル付)を用意してください。(別途工事)電源の一次側には、漏電遮断器(ELB)を付けてください。(放流ポンプの電源には、各ポンプ毎に1個ずつ取付けてください。)
- 嵩上げ枠は「マンホール部詳細図(例)」を参考に高さを調整して施工ください。
- 流入管、流出管、臭突管、排気管、空気管(浄化槽・機器)、電気配線、電線管は現地に用意ください。
- フロワは仕様と異なる場合があります。
- 放流ポンプの配線は、内径28mm以上の電線管を使用してください。(電線管内にポンプのプラグを通す場合は、内径36mm以上の電線管を使用してください。その際、電線管の接合部は、発泡ウレタンにより気密シールを行ってください。)
- 放流ポンプの電線管端部は、発泡ウレタンにより気密シールを行ってください。
- 放流ポンプ槽が付く場合は、必ず臭突管工事を行ってください。
- 工事前に施工要領書をお読みいただき、正しい施工を行ってください。
- 行政庁等の指導がある場合は、行政庁等の指導に従ってください。

製図	イソヤマ	09-10-30	第三角法	品名	大型車仕様・深埋め300
審査	オオノマ	09-10-30	尺	KGRN-14P セコウス	
承認	フルイチ	09-10-30	1:30		
株式会社 ハウステック				図面番	YUC 210760